

# 記者会見資料 記者発表資料 報道機関配布資料

平成23年9月9日

件名「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の実施について

[内 容]

1 事業内容 平成21年度から取り組みをはじめ、今年度で3年目を迎える「松江市一斉ノーマイカーウィーク」は、多くの市民や市内通勤者がマイカーを控えることにより、交通渋滞の緩和、市内からのCO2排出の削減と、公共交通利用の促進に貢献できることを啓発し、一人ひとりの行動変化を促すことを目的に実施します。

2 実験期間 平成23年10月17日(月)～21日(金)

3 対 象 松江市民及び市内事業所への通勤者

4 結果報告 松江市HPで実施効果について報告予定

(速報：11月上旬頃 詳細：12月頃)

5 新たな取組 企業の積極的、継続的な取り組みを支援するため、参加事業所の事後アンケートの報告内容を受け、取り組み顕著な事業所を選定し、松江市公共交通利用促進市民会議により表彰する。

6 問合わせ 松江市役所 政策部地域・交通政策課

担当 課長	足立 保
副主任	佐藤 広樹
電話 (0852)55-5661	
担当 副所長	石川 庄嗣
電話 (0852)26-2131	

国土交通省松江国道事務所

問い合わせ 政策部地域・交通政策課

担当者 佐藤 TEL 55-5661

決裁

添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
写真	有・ <input type="checkbox"/>
図面・イラスト	有・ <input type="checkbox"/>
説明	有・ <input type="checkbox"/>

広報主任	広報事務連絡員

提出部数	記者会見	35部
	記者発表	25部
	配布資料	23部

## 松江市一斉ノーマイカーウィーク(10月)の実施について

1. 実施期間 平成23年10月17日(月)～21日(金)
2. 目的 多くの市民や市内通勤者がマイカーを控えることにより、通勤渋滞の緩和、市内からのCO<sub>2</sub>排出の削減と、公共交通利用の促進に貢献できることを啓発し、一人ひとりの行動変化を促すことを目的に実施する。
3. 主催 松江市  
松江市公共交通利用促進市民会議  
島根県  
国土交通省中国地方整備局松江国道事務所  
国土交通省中国運輸局島根運輸支局  
松江商工会議所(H22は後援)  
(社)島根県旅客自動車協会(H22は後援)
- 共催 一畑バス(株)  
日ノ丸自動車(株)米子支店  
西日本旅客鉄道(株)米子支社  
一畑電車(株)  
松江市交通局
- 後援 まつえ北商工会  
まつえ南商工会  
東出雲町商工会  
まつえ環境市民会議  
松江市交通安全対策会議  
島根県警察本部  
松江警察署  
松江市町内会・自治会連合会  
松江市公民館長会  
一畑電気鉄道(株)  
連合島根  
島根県交通運輸産業労働組合協議会  
各報道機関各社
4. 取り組み方法 市民や市内通勤者に対し、自家用車を使用しない日をノーマイカーウィーク期間中に1日以上設定し行動してもらう。

5. 効果の測定 ノーマイカーウィーク中と、前の週のバス利用者数を比較する。  
(松江市交通局の乗降データを基本とする)  
住民、企業を対象とした事後アンケートにより参加状況を把握する。  
主要交差点の渋滞長比較  
歩行者、自転車数の比較(宍道湖大橋、松江大橋、新大橋、くにびき大橋)
6. 周知方法 住民(城東地区のうち約 1,500 世帯) への周知と協力  
市内協力事業所(約 370 社+) への周知と協力  
市報(事前 1 回)による周知と協力  
(約 7 万 8,000 世帯に配布)  
松江商工会議所会報誌「しょほう」(事前 2 回)による周知と協力  
(約 3,000 事業所に配布)  
プレスリリース(事前 2 回、事後 2 回)(予定)  
新聞広告(事前 2 回、事後 1 回)  
CATV、ラジオ CM による広報  
懸垂幕の掲示(掲示場所;一畑百貨店)  
ポスター(駅、公共施設など市内各所に掲示、事業所等に配布)  
街頭ちらし配布  
島根大学や松江高専、松江市内の企業団地の組合、市内の大規模事業所の働きかけ  
HP (  で  または <http://www.city.matsue.shimane.jp/jumin/koutsu/matsueco/matsueco.html> )
7. 新たな取組 企業の積極的、継続的な取り組みを支援するため、参加事業所の事後アンケートの報告内容を受け、取り組み顕著な事業所を選定し、松江市公共交通利用促進市民会議により表彰する。(詳細は後述)

# 別添資料

## 1. 松江市一斉ノーマイカーウィーク 広報ポスター

市民、事業所への松江市一斉ノーマイカーウィークの周知のためのポスター。駅や公共施設など市内各所に掲示すると共に、市内の事業所に配布することで取り組みへの参加を促します。

## 2. ノーマイカーウィークを応援する取組み

一斉ノーマイカーウィーク期間に合わせて、「駅やバス停付近へのパーク＆ライド駐車場、サイクル＆ライド駐輪場（臨時）の設置」や「職員の通勤や業務移動で使える電動アシスト付自転車の市内事業所への貸し出し」、「取り組みに対する表彰制度を創設」など、マイカー以外での通勤や業務の移動を支援する取組みを実施します。

## 3. 平成 22 年 実施結果

期間中、約 100 事業所、延べ約 3,200 名が参加

ノーマイカーウィークの取組みの継続について、約 94%が続けた方が良いと回答

平成 21 年度のノーマイカーウィークをきっかけに、参加事業所の約 30%が、クルマ通勤をやめたり、控えたりした従業員が増えたと回答

クルマ利用を控える際の交通手段としては自転車が最も多い（約 37%）

## 4. 取り組み紹介:『はじめよう！通勤でまつエコ』

松江市公共交通利用促進市民会議と国土交通省松江国道事務所では連携し、平成 19 年より、企業が各社で取り組み可能なエコ通勤メニューを考え、それらを「まつエコ宣言」(エコ通勤プラン)として策定し、できるペースで継続的にエコ通勤を実践していく「はじめよう！通勤でまつエコ」の取り組みを進めています。2011 年 8 月末現在、約 70 社、8,000 人が取り組みを実践しており、各社の環境や事情に応じて独自のユニークな取り組みをしている企業も多くあります。例えば、市内建設会社(春日町)ではエコ通勤担当者を配置し通勤や業務移動での自転車利用の推進に積極的に取り組んでいます。

今回のノーマイカーウィークを機会に、継続的なエコ通勤に取り組む賛同事業所も合わせて募集しています。

松江市一斉

# ノーマイカーウィーク

たまには **クルマ** を  
**休んで** みませんか？



クルマからのCO<sub>2</sub>削減や交通渋滞の緩和、バス・鉄道の利用促進に向けて、  
過度なクルマ利用を見直すきっかけづくりの取り組みです。  
地球にエコ カラダにエコ おサイフにエコな取り組みに是非ご参加ください。

平成23年

10/17(月)~10/21(金)

- ・ノーマイカーウィーク期間中、市内14箇所で開催  
&ライド駐車場・駐輪場が、無料でご利用できます！
- ・電動アシスト付き自転車の事業所への貸出実施！

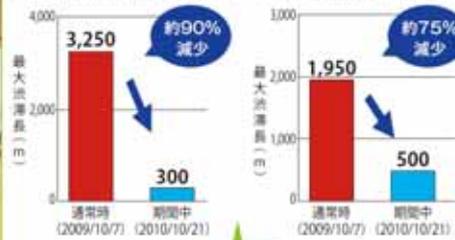
※詳しくはまつエコHP (<http://www.city.matsue.shimane.jp/jumin/koutsu/matsueco/matsueco.html>)へ。



昨年のノーマイカーウィークでは  
市内各所で、渋滞が大幅に減りました。

■渋滞状況の比較(朝ピーク時(7時~9時)の最大渋滞長)

・穴道湖大橋北詰交差点(東道) ・JFR松江駅東交差点(南道)



CO<sub>2</sub>の排出量も削減!

詳しくはホームページをご覧ください。

通勤でまつエコ で 検索 または

<http://www.city.matsue.shimane.jp/jumin/koutsu/matsueco/matsueco.html>

主催：松江市、松江市公共交通利用促進市民会議、島根県、国土交通省中国地方整備局松江国道事務所、  
国土交通省中国運輸局島根運輸支局、松江商工会議所、(社)島根県旅客自動車協会

共催：一畑バス(株)、松江市交通局、日ノ丸自動車(株)米子支店、西日本旅客鉄道(株)米子支社、一畑電車(株)

後援：まつえ北商工会、まつえ南商工会、東出雲町商工会、まつえ環境市民会議、松江市交通安全対策会議、島根県警察本部、松江警察署、松江市町内会・自治会連合会、一畑電気鉄道(株)、  
連合島根、島根県交通運輸産業労働組合協議会、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、朝日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞松江支局、毎日新聞松江支局、中国新聞社、  
日本経済新聞社松江支局、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社松江支社、NHK松江放送局、山陰中央テレビ、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰 (順不同)

## 2. ノーマイカーウィークを応援する取組み

### 駅やバス停付近へのパーク＆ライド駐車場、サイクル＆ライド駐輪場（臨時）の設置

自宅から徒歩で駅やバス停まで行くのが不便な場合、利便性のよい駅やバス停までは車、自転車で行き、そこから公共交通に乗り換えてみることで、公共交通が利用しやすくなる、パーク＆ライド、サイクル＆ライド用の臨時駐車場を合計14箇所に設置します。

パーク＆ライド、サイクル＆ライドの実施により、市街地への車の乗り入れを抑えることで渋滞緩和にもつながります。

#### 【実施期間】

平成23年10月17日(月)~10月21日(金)

場所	クルマ台数	自転車
J R東松江駅	5	
J R宍道駅付近	5	
松江イングリッシュガーデン	50	-
松江市役所 鹿島支所	10	
マリゲートしまね	10	
美保関総合運動公園	10	
八雲町日吉親水公園	10	
松江市役所 玉湯支所	10	
松江市役所 八束支所	10	
松江市役所 東出雲支所付近	10	
北消防署付近	20	
湖南中学校付近	20	
竹矢公民館付近	20	
ウェルネス古志原三丁目店	-	
計	190	-

#### 【申込】

利用するには、事前申込は不要です。



パーク＆ライド・サイクル＆ライド 臨時駐車場位置図

## 電動アシスト付自転車モニター制度（市内事業所への自転車の貸し出し）

松江市の通勤における自転車分担率は7%であり、中四国地方の他都市と比較しても著しく低く、通勤交通手段として認識されていない可能性が高い。

このような背景から、自転車利用の動機づけとして、市内の事業所に対し自転車を一定期間貸し出し、職員の通勤や業務移動で実際に利用してもらい、その利便性の高さを認識してもらうことで、クルマからの転換やクルマに過度に依存しない市民意識の醸成を図る。

### 【内容】

対 象：市内事業所でモニター制度を利用することにより、クルマ利用を控えることが可能な事業所。

台 数：10台程度

貸与台数：最大3台/事業所まで

貸与期間：平成23年10月から最長3カ月

### 【申込】

松江市政策部地域・交通政策課（TEL：0852-55-5661）へ申し込みが必要。

事業主、使用者それぞれ返却時にアンケートへのご協力をお願いします。利用者には日報を付けていただきます。

## ノーマイカーウィーク期間中のエコ通勤の取り組みに対し表彰制度を創設

平成21年からの松江市一斉ノーマイカーウィークの実施から本年度で3回目を迎え、ノーマイカーウィークにあわせ、エコ通勤の取り組みに対する表彰制度を下記のとおり創設します。

### 記

表彰主体：松江市公共交通利用促進市民会議

表彰対象：平成23年度のノーマイカーウィーク参加事業所

表彰内容（例）：  
・マイカー通勤からの転換人数

・マイカー通勤からの転換率（対象者に対する）

・ノーマイカーウィーク参加者数

・ノーマイカーウィーク参加率（対象者に対する）

・ノーマイカーウィーク継続参加

・特徴的な取り組み内容 など

表彰の流れ：ノーマイカーウィークへの参加意向表明企業を対象にノーマイカーウィーク実施後の取り組み状況に対し、事後の事業所アンケートで回答いただき、その取り組み状況について評価を行い、年度末に表彰式を実施

松江市一斉ノーマーカーウィーク

事業所御担当者・従業員アンケート結果のご報告

本年度の松江市一斉ノーマーカーウィークにご参加いただき、ありがとうございました。期間中、約100事業所、延べ約3,200名の方にご参加頂きました。

1 ノーマーカーウィークの参加状況について

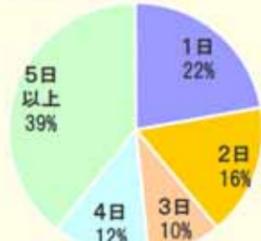
期間中は自転車やバスを利用された方が多くを占めました。参加日数は平均3.4日で、5日間以上参加された方が全体の約4割を占めました。

▼利用交通手段



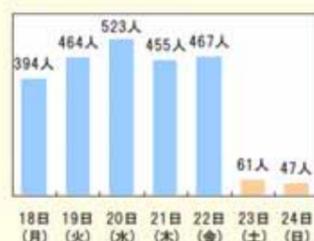
(事業所アンケートより、N=2297)

▼参加日数



(従業員アンケートより、N=953)

▼曜日別参加人数

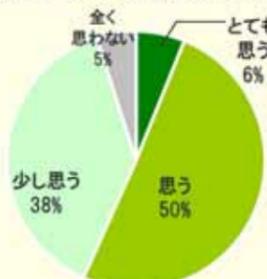


(事業所アンケートより、N=2410)

2 事業所や従業員の皆さまのご感想

ほとんどの方が、普段のクルマの使い方を見直すきっかけづくりの取り組みを続けた方がよいと回答されています。

▼「ノーマーカーウィーク」のような取り組みを続けた方がよいですか？



(事業所アンケートより、N=78)

良かった感想

- 歩いてみたら意外と歩けない距離ではないと感じました。
- 健康のことを考えると、1週間のうちに2~3日は徒歩通勤をした方がよいと思った。
- キンモクセイの香りが感じられて気持ち良かったです。
- 自転車通勤してみると、思ったより早く爽快だった。
- 交通量が減り、自転車で登校した。児童に「おはよう」と声かけをしながら、風にあたり、気持ちよく通勤できた。
- 車の運転マナーの悪さ、安全確認の不徹底、危険な運転、これらの為に危ないと思いました。
- 「公共交通機関であれば、随分地球が喜ぶ」ということを考えるきっかけにはなった。
- 市の職員から率先すべきと改めて認識した。

改善意見

- 信号待ちのストレスは減るが、坂道が多く街灯が少ないので、夜道が心配。利用できる交通機関がないと(少ないと)、貢献もできない。利用者が減っている中ではあるが、利用のための充実も必要だと思う。
- 徒歩通勤者や自転車通勤者に優しい道路が多い。

3 昨年の参加後の状況

昨年度のノーマーカーウィーク以降、クルマ通勤をやめたり、たまにクルマ以外で通勤されている方が増えています。従業員アンケートの結果によると、実際に転換された方のほとんどは、ノーマーカーウィークに参加された方でした。

▼昨年度のノーマーカーウィーク以降、クルマ通勤をやめたり控えている人がいますか？



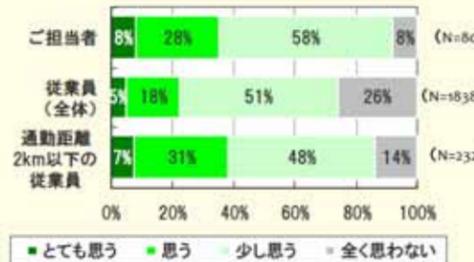
(事業所アンケートより、N=54)

4 今後、通勤でのクルマ利用を控えることについて

今後、クルマ利用を控える取り組みを実施することについては、事業所のご担当者の方で約4割が「とても思う」、「思う」とお答えになっています。なお従業員の方々全体では2割程度ですが、通勤距離が2km以下の方についてみると約4割となっており、実施のペースは「毎日」が半数程度、交通手段は「自転車」が多くなっています。

また、事業所での今後の取り組みについては、「事業所内での呼びかけの継続」が最も多くなっています。

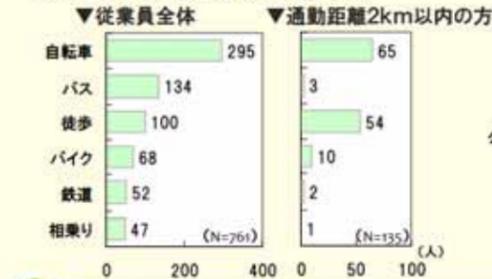
▼今後、クルマ利用を控える取り組みをしてみようと思いませんか？



▼どのくらいのペースで実施してみようと思いませんか？



▼クルマ利用を控える際の交通手段



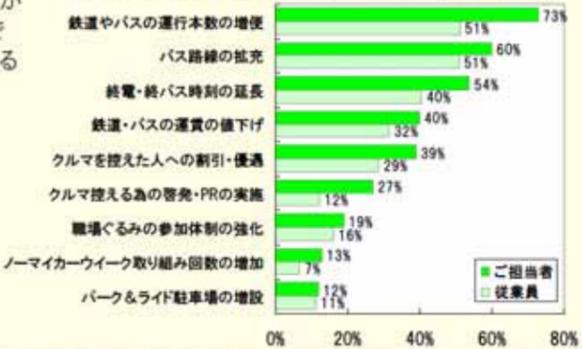
▼事業所で取り組みたい内容



4 継続のために改善すべき点について

今後、より多くの方がノーマーカー通勤を実施するためには、鉄道やバスの改善を臨む意見が上位を占めています。そのほか、職場ぐるみでの参加体制の強化や啓発・PRの実施に対する意見も多くなっています。

▼今後、より多くの方がノーマーカー通勤を継続するためには、どのようにすればよいと思いませんか？



皆さまのご参加ありがとうございました。

積極参加された事業所のご紹介

▼参加人数

事業所名	参加人数
① 松江警察署	31名
② (株)島根銀行	23名
③ 松江土建(株)	19名
④ 松江県土整備事務所	17名
⑤ 中国電力(株)島根支社	15名

▼延べ参加人数(7日間の計)

事業所名	延べ人数
① 松江警察署	89名
② マツエ通信工業	78名
③ 中国電力(株)島根支社	46名
④ 松江県土整備事務所	32名
⑤ (財)島根県環境保険公社	15名

▼参加率(参加人数÷マイカー通勤者数)

事業所名	参加率
① 山陰ステーション開発(株)	100%
② 中国新聞松江支局	100%
③ (株)アテナ	91%
④ 中国電力(株)島根支社	80%
⑤ 大和森林(株)	50%

▼参加者数伸び率(H21年との比較)

事業所名	増加率
① 渡部印刷(株)	200%増
② 中国電力(株)島根支社	114%増
③ 松江土建(株)	111%増
④ マツエ通信工業	100%増
⑤ ホテル穴道湖	80%増

事業所の経費や職員の健康にもおトクなエコ通勤 できることからはじめてみませんか？

# エコ通勤 取り組み好事例集

## 2011



### 1. 本資料の趣旨

環境意識の高まりや健康ブーム、経費節減などを目的に『エコ通勤』を導入する事業所が増えてきています。

この資料は、貴事業所における『エコ通勤』導入への参考のため、松江や全国各地の事業所において取り組まれている『エコ通勤』取り組み事例をまとめたものです。

この資料を参考に、『できることから、できるペースで、できる人から、やりやすく』のコンセプトで貴事業所にあったエコ通勤をご検討ください。

### 2. 資料の構成

区分	取り組み企業・団体名	頁
①ノーマイカーデーの実施	●ごうぎんシステムサービス株式会社（松江市袖師町） ●一畑電気鉄道株式会社（松江市中原町）等	2
②自転車の利用・自転車通勤の支援	●株式会社島根銀行（松江市東本町） ●ホテル穴道湖（松江市西嫁島）等	3
③業務での自転車利用推進	●カナツ技建工業株式会社（松江市春日町） ●「 <b>まつエコ宣言</b> 」事業所多数 等	4
④駐車場の見直し／短距離マイカー通勤の抑制	●イオン松江店（松江市東朝日町） ●マツエ通信工業株式会社（松江市西津田）等	5
⑤公共交通利用の推進	●松江市内事業所（金融・保険業） ●松江市役所（松江市末次町）等	6
⑥エコポイント制度の導入	●株式会社デンソー（愛知県刈谷市）	6
⑦エコ通勤プランの策定	●松江市における「はじめてよう！通勤でまつエコ」の取り組み	7

上記の『エコ通勤』取り組み事例とあわせて、巻末（8頁）に地域特性を踏まえた具体的な取り組み方法を記載した『エコ通勤取り組み方法例』を添付しています。

取り組み事例とあわせて、是非、ご活用ください。

【本資料に関するお問い合わせやエコ通勤の実施に関するご相談】 松江市政策部地域・交通政策課 TEL：0852-55-5661

## 好事例① ノーマイカーデーの実施および車の抑制

ノーマイカーデーは、週や月で決めた日や曜日に、クルマ以外で通勤する取り組みです。メールや社内放送での呼びかけであれば、手間をかけずに導入できます。上司への報告制やノーマイカー通勤日数を目に見える形で周知する等、各社工夫して取り組んでいます。

ごうぎんシステムサービス株式会社（松江市袖師町）

### ノーマイカー実績管理表(上司への報告制)による継続的な取り組みの推進

- 特定の日を決めずに、ノーマイカー通勤を呼びかけ。
- ノーマイカー通勤日数を**上司への報告制**とすることで継続的な取り組みを推進。
- 従業員の月々のノーマイカー通勤日数を**目に見える形で掲示**し（ノーマイカー実績管理表）、従業員の**取り組み意欲を高める工夫**。
- ノーマイカー実績管理表に数値を入力することで、**CO2削減量も算出可能**。

#### Point!

- 特定の日を決めないことで、**従業員が都合の良い日や晴れた日にできるペースで実施可能**。
- **上司への報告制**や従業員の**月々のノーマイカー通勤日数を目に見える形で周知**することも、**取り組みの継続**や**社員のやる気の向上**につながり有効です。

▼ノーマイカー実績管理表

氏名	通勤手段 マイカー・電車・バス・徒歩等	マイカー通勤の 削減距離(km)	実績日数						
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
マイカー	33	2	2	1	1				
徒歩	0								
マイカー	7	0	1	1					
マイカー	80				2	3			
マイカー	14	0	1						
自転車	0			1	1	1	1	1	
マイカー	7			1	1	1	1	1	
マイカー	11	0	0	2	1				
マイカー	82	0	0	1	0	0			
マイカー	10	2	2						
電車・自転車	0								
自転車									

- 月々の社員のノーマイカー通勤日数を記録  
→マイカー通勤の削減距離やCO2削減量を簡単に算出可能

- 社員の目に見える形で掲示  
→自分と他人のノーマイカー通勤日数を比べることができ、社員のやる気の向上に

上記以外の松江市内の事業所の取り組み好事例は下記をご覧ください。

企業・団体名	所在地	取り組み概要
一畑電気鉄道株式会社	松江市 中原町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月 2 回のノーマイカーデーに原則<b>従業員全員がノーマイカー一通勤</b>を実施（1・20 日）。</li> <li>・ 公共交通利用時の交通費は<b>会社が負担</b>。</li> <li>・ 前日は<b>社内放送のアナウンス</b>、当日は「マイカー通勤許可証」の無いクルマが<b>駐車されていないかチェック</b>。</li> </ul>
国土交通省 松江国道事務所	松江市 西津田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月第 2, 第 4 水曜日にノーマイカーデーを実施。（曜日指定にすることで土日と重ならず<b>に実施できる</b>）</li> <li>・ クルマ以外での通勤がしやすい職場制度と連動させ、<b>ノーマイカーデーに合わせたノーマイカーデーを設定</b>。</li> </ul>
株式会社佐藤組	松江市 堂形町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通勤交通でクルマを控えることができない人でも、<b>休日の外出でクルマを控えるように意識し、クルマ利用を抑制</b>。</li> </ul>

## 好事例② 自転車の利用・自転車通勤の支援

自転車通勤者に対し、通勤手当や駐輪場代の支給、施設整備などを行いマイカーからの転換を促進します。自転車は低費用で環境にも優しく健康管理としても優れた交通手段です。社員の気分転換やストレス解消にもつながります。

### 株式会社島根銀行（松江市東本町）

#### マイカー通勤の抑制や自転車通勤手当などによる公共交通・自転車の利用促進

- マイカー通勤者の事故のリスクなどを背景に通勤手当を見直し。

- －マイカー通勤手当の支給範囲を 3km 以上から 5km 以上に拡大
- －公共交通手当の支給範囲を 3km 以上から 2km 以上に緩和
- －自転車通勤手当(月2,000円)の支給

→その結果、現在は市内勤務の約 30%の社員が自転車通勤。

#### Point !

- 可能であれば制度や手当での見直しは非常に有効。
- また島根銀行の場合、制度・手当での見直しにあたり、従業員からの反発は特になかったとのこと。

▼事業所5km圏内はマイカー通勤を抑制



### ホテル宍道湖（松江市西嫁島）

#### 社内のシャワー設備の活用による自転車・徒歩通勤の促進

- 社内のシャワー設備を従業員も利用。
- 結果、自転車や走って通勤する人が出てきた。

#### Point !

- 社内のシャワー設備を有効活用。
- 自転車・徒歩通勤による発汗を解消。

上記以外の全国の事業所の取り組み好事例は下記をご覧ください。

企業・団体名	所在地	取り組み概要
大口酒造株式会社	鹿児島県 大口市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車通勤者に 1km あたり 10 円の手当を支給。</li> <li>・ 1 回単位の申告のため、天候や社員の都合に合わせて自転車通勤ができる。</li> <li>→結果、社員 70 人のうち 30%が自転車通勤。</li> </ul>
株式会社フジキン	大阪府 東大阪市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイカー通勤の自粛期間に応じた報奨金を支給。 (1 年自粛：月 3,000 円、3 ヶ月自粛：月 1,500 円の支給)</li> <li>→結果、マイカー通勤者数が減少し、通勤途中の事故の減少につながった。</li> </ul>
株式会社シマノ	大阪府 堺市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車通勤者に月 5,000 円の手当を支給。</li> <li>・ 事業所に電動空気入れや自転車工具を配備すると共に、駐輪場 500 台分、更衣室、浴室を整備。</li> </ul>

### 好事例③ 業務での自転車利用推進

社用自転車を事業所で購入し、近距離の業務移動などに活用する取り組みです。経費的には、インシャルコスト・ランニングコスト共にほとんどかからず、大幅な経費削減を達成した事業所もあります。走行距離メーターを付けることで、燃料やCO<sub>2</sub>の削減量を簡単に把握できます。

カナツ技建工業株式会社（松江市春日町）

#### 社用自転車の購入による業務移動での自転車利用推進

- **業務用自転車を購入し**、2km 以内の近距離移動は自転車利用を推進している。
- **走行距離メーター**をつけて、走行距離が分かるようにし、月々の移動距離を記録。
- また**エコ通勤担当者を配置**し、通勤での自転車利用の推進などにも積極的に取り組んでいる。

▼取り組み推進のため、社用自転車を購入

（メーターによる走行距離の把握）



#### Point !

- **走行距離メーター**をつけ距離を把握することで、**燃料やCO<sub>2</sub>の削減量が簡単に算出**でき、**社員のやる気、企業イメージの向上**につながります。

上記以外の松江や全国の事業所の取り組み好事例は下記をご覧ください。

企業・団体名	所在地	取り組み概要
<p>まつエコ 「<b>松江ECO宣言</b>」事業所多数</p> <p>※「まつエコ宣言」についての詳細は7ページをご覧ください。</p>	松江市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通勤や職場の交通手段等を見直す目標を記載した「<b>松江ECO宣言</b>」を策定している事業所の多くが、通勤でのクルマ利用を控える取り組みと共に <b>2km 以内の近距離業務移動での自転車利用を推進</b>している。</li> </ul> <p>事業所から2km 圏内を示したポスターを自転車貸し出し簿や社内に掲示し取り組みを推進</p> 
苫小牧市	北海道 苫小牧市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>2km 以内の近距離移動は自転車利用を推進</b>。</li> <li>・ 走行メーターを設置しCO<sub>2</sub>削減量も算出。</li> </ul>
石狩市	北海道 石狩市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本庁舎から半径 <b>2km 圏内の業務の場合、自転車の利用を推奨</b>。</li> </ul>
佐川急便株式会社	京都府 京都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根つきの電動自転車を宅配業務で使用。</li> <li>→1 事業所あたり3 台程度のトラックの削減。</li> </ul> 

## 好事例④ 駐車場の見直し／短距離マイカー通勤の抑制

マイカー通勤を抑制するため、駐車場を削減したり、短距離のマイカー通勤を原則禁止にする取り組みです。駐車場にしていた土地を他の目的に有効活用できたり、売却することで経費の削減に繋がるなどのメリットがあります。また短距離のマイカー通勤の原則禁止は従業員の理解が比較的得やすく、手当を出していた場合経費削減にもなります。

### 松江市内事業所

#### 従業員用駐車場の見直し

- 駐車場用地の売却に伴う**駐車場の削減**により、従業員が**通勤手段を見直し**。  
→現在は 75%の従業員が公共交通や自転車・徒歩で通勤。

#### Point !

- 駐車場売却にあたり従業員からの反発は特になかったとのこと。

▼当該事業所ではその他にも様々な取り組みを推進

- 2km以内の業務移動で**自転車利用を呼びかけ**  
(**新車の導入により利用率が上昇**)
- **環境行動チェックリスト**の実施(月1回)  
(各職場の**環境リーダー**による声かけ)
- 業務車両の**燃費を個人別に集計**しエコ運転を啓発
- 社内外のエコ運動への参加・協力呼びかけ  
(**総務担当からのお知らせ**として従業員に配布)
- **CSR報告書**への環境の取り組みの記載 等

上記以外の松江や全国の事業所の取り組み好事例は下記をご覧ください。

企業・団体名	所在地	取り組み概要
イオン松江店	松江市 東朝日町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半径 2km 以内は徒歩・自転車通勤を推進。</li> <li>・ また以前は店舗駐車場にゲート等がなく、店舗利用者以外の駐車車両が多数存在。</li> <li>・ それらのクルマを取り締まるため、店舗駐車場にゲートを設置。</li> <li>・ 同時にこれまで店舗駐車場を利用していた、従業員車両を排除。</li> </ul> 
マツエ通信工業株式会社	松江市 西津田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従業員が増えて駐車場の空きがなくなってきたので、従業員にマイカー通勤の抑制を促進。</li> <li>・ 趣味としてバイクに乗るサークルができたことから、クルマからバイクへの通勤手段転換者が増加。</li> </ul>
松江記念病院	松江市 上乃木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車通勤者の利便性向上を目的に、<b>駐車場の一部を駐輪場に変更</b>。</li> </ul>
富士通アイソテック株式会社	福島県 伊達市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半径 1.8km 以内のマイカー通勤は<b>原則禁止</b>。</li> <li>・ 加えて、徒歩や自転車通勤者にはマイカー通勤者への助成費とほぼ同額の通勤手当を支給。</li> </ul>

## 好事例⑤ 公共交通利用の推進

通勤手段として電車やバスなどの公共交通利用を推進します。立地が鉄道駅やバス停に近い事業所ではマイカー通勤を原則禁止している事業所も多くあります。

松江市内事業所(金融・保険業)

### マイカー通勤の原則禁止による公共交通利用の推進

- JR 松江駅に近い松江支社では内勤の従業員の**マイカー通勤を原則禁止し、公共交通の積極的な利用を推進**。
- 内勤者約 40 名のうち、**95%が公共交通などマイカー以外で通勤**している。

#### Point !

- 事業所の立地が鉄道駅やバス停に近い場合には有効。

松江市役所(松江市末次町)

### 公共交通等通勤可能者のマイカー通勤の制限による公共交通利用の推進

- 正職員対象に **6km 以内のマイカー通勤を制限**。
- 公共交通利用者の定期代を全額負担。
- 該当者約 400 人のうち、**約 70%がマイカー以外の通勤に転換** (2011 年 4 月より実施)。

#### Point !

- 公共交通等の利用が1時間以内となる地域を対象。  
(市長も率先してバスを利用)

## 好事例⑥ エコポイント制度の導入

様々な環境活動を事業所独自のポイント制にし、その中にエコ通勤を位置づける取り組みです。ユニークな取り組みとして注目度も高く、事業所の PR にもつながります。

株式会社デンソー(愛知県刈谷市)

### 企業独自のエコポイント制度によるエコ通勤の推進

- 「DECO ポン」と呼ばれる**社内エコポイント制度の一環として**ごみゼロ運動や環境ボランティア等と共に**エコ通勤を推進**。
- 2008 年度は**約 500 人が徒歩・自転車等のエコ通勤を実施**。  
(約10%が転換)

#### Point !

- 社員が**獲得したエコポイントに応じて、会社で準備したエコ商品(エコバックや有機農産物等)と交換**できるようにしたり、**植樹活動への寄付**ができるようにすることで**社員のやる気向上**につながります。

▼エコポイント制度の一環としてエコ通勤を推進



(デンソーWEB サイトより)

## 好事例⑦ エコ通勤プランの策定

各事業所で取り組めるエコ通勤メニューを検討・実施していく取り組みです。松江市では全国に先駆けて取り組みを開始しており、2011年8月末現在、約70社8,000人が取り組みを実施しています。

### 松江市における「はじめよう! 通勤でまつエコ」の取り組み

- 渋滞や公共交通等の交通課題を市民と一体となって解決していくため「松江市公共交通利用促進市民会議」を設立。その活動の一環として地域の事業所の方々と共に「松江の交通・環境問題を共に考える取り組み（「はじめよう! 通勤でまつエコ」）」を推進。
- 通勤や職場の交通手段等を見直す目標を記載した「まつエコ宣言（エコ通勤プラン）」を多くの事業所が策定（2011年8月末現在、約70社8,000人）、各事業所で取り組みを推進している。

#### ▼はじめよう！通勤でまつエコの概要



### あなたの事業所も「まつエコ宣言」しませんか？

松江市の高い自動車依存や渋滞等の問題を解消していくためには、**ひとり一人がほんの少し意識を変え、少しずつ取り組みを始めていくことが重要です**。そのため、1社でも多くの皆様と共に取り組んでいきたいと考えています。あなたの事業所でも『**できることから、できるペースで**』はじめてみませんか？

▼詳しくは下記HPをご覧ください（HPから簡単に「まつエコ宣言」することが出来ます）

（『まつエコ宣言』をご提出頂いた後、HP（松江市）にて事業所名をご紹介します。）

通勤でまつエコ  で  または <http://www.city.matsue.shimane.jp/jumin/koutsu/matsueco/matsueco.html>

以上までの「取り組み好事例」や下記の「エコ通勤を進める上でのポイント」、次頁の「エコ通勤取り組み方法(例)」を参考に貴事業所にあった松江ならではの『エコ通勤』を、是非実施してみてください。

### エコ通勤を進める上でのポイント

- ① **近場(概ね5km圏内)のマイカー通勤者がいる場合、まずは週に1日から徒歩・自転車通勤を**してもらいます。取り組みは継続して実施し、もし可能なら、実施日を増やしていきます。
- ② **家から事業所や駅までの距離が遠く、ノーマイカー通勤が難しい人は、自分より近くに住む人を乗せて通勤**する方法(相乗り通勤)が効果的です。(クルマを利用せざるを得ない方も、乗せた人数分のクルマを削減でき、渋滞緩和・環境改善に貢献できます)
- ③ **エコ通勤担当者を配置することで、目標を持ちやすくなり、取り組みも継続しやすくなります。上長が率先して取り組むことも効果的**です。
- ④ **少しの取り組みが全体では大きな効果になります。1社1人の積み重ねが市内の渋滞緩和・環境改善につながります。**(ノーマイカーウィークの取り組みを参照ください)



松江は、公共交通がそれほど便利ではなく、雨が多い、冬は雪が多く寒いなどの土地柄で、クルマに頼らざるを得ない面もありますが、**ひとり一人、一社一社がほんの少し意識を変え、目標を持って少しずつ取り組みを始めていくこと**で交通問題や環境問題の解決に繋がります。

「**できることから、できるペースで、できる人から、やりやすく**」のコンセプトで

取り組みメニューを考えてみてください。

「**できることから**」会社の位置や通勤制度を考慮した使いやすい交通手段を設定。自転車の活用は有効!  
 「**できるペースで**」まずは天気の良い日・時期からスタート。毎週や毎月など、実施日を覚えやすくする。  
 「**できる人から**」部署により勤務形態や残業の有無が異なる場合、個々にあった取り組み方法を設定。  
 「**やりやすく**」エコ通勤実施日はノー残業デーなどを併せて実施してクルマ以外でも帰りやすく。

メニュー	取り組み事例(目標事例)
ノーマイカーデー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月1日と20日にノーマイカー通勤を実施する。(決まった日付や曜日を定める)</li> <li>●日は決めずに、ノーマイカー通勤を呼びかける。<u>上司への報告制</u>や<u>月々のノーマイカー通勤日数を目に見える形で周知</u>することも有効。(報告制や、自分と他人の取り組み状況を比較できるようにすることで社員のやる気の向上に繋がります)</li> <li>●雪の降らない4月から11月の間は第1、第3金曜日にノーマイカー通勤を実施する。(快適な季節だけでも実施する)</li> <li>●火曜は総務部、水曜は営業部がノーマイカー通勤する。(部署別に日を設定)</li> <li>●実施の前日は<b>忘れないように</b>社内放送やメールで呼びかける。 ただし前日の天気予報が雨の場合、翌日に順延する。(難しい日は柔軟に対応)</li> <li>●ノーマイカーデーには<u>ノー残業デー</u>を実施。また<u>部内親睦の飲み会を開催</u>し、クルマで通勤しなくてもよい環境をつくる。</li> <li>●家から会社や駅までの距離が遠く、ノーマイカー通勤が難しい人は、<u>自分より近くの人を乗せて相乗り通勤</u>することで乗せた人数分のクルマを削減可能。(渋滞緩和や環境改善に大きく貢献)</li> </ul>
自転車の利用・自転車通勤の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業所から2km以内に居住する<u>近距離マイカー通勤者</u>に、<u>まずは週や月に1度の徒歩・自転車通勤</u>を呼びかける。もし可能なら、<u>マイカー通勤を原則禁止</u>にする。(エコだけでなく、<u>会社のコスト削減</u>にも繋がります)</li> <li>●会社の敷地に<u>駐輪スペース</u>を用意する。駅から会社までの移動に使う<u>自転車を用意</u>する。</li> <li>●近距離通勤者の<u>マイカー通勤手当・駐車場手当を減額する代わりに自転車通勤手当を創設</u>。</li> <li>●松江駅の駐輪場を借り上げ、駅から会社まで通勤しやすくする。(1,800円/台・月)</li> </ul>
業務移動での自転車利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2km以内の業務移動は自転車利用を原則とする。(無理のない距離でルール化)</li> <li>●業務移動用の自転車を購入する。(新車や電動アシスト車は効果大。また、<u>距離を計測できるサイクルメーター</u>を付けることで、CO<sub>2</sub>削減等の効果を目に見える形で把握できます)</li> </ul>
パーク&ライド (駅に駐車し鉄道通勤)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通勤手当をパーク&amp;ライドに対応できるように改訂。(駅から家が遠い通勤者にも配慮)</li> </ul>
駐車場の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マイカー通勤許可距離を見直し、借上駐車場をやめる。駐車場の一部を駐輪場に変更。</li> </ul>
休日移動見直しの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マイカー通勤を控えることが困難な人でも、<u>休日移動でクルマを控える</u>よう呼びかける。</li> </ul>

各社、できることを、少しずつ、継続的に取り組んで頂ければ幸いです。